

事業計画及び成長性に関する事項

2021年12月



global bridge HOLDINGS

1. 会社概要
2. ビジネスモデル
3. 市場環境
4. 競争力の源泉
5. 事業計画
6. リスク情報

企業名	株式会社global bridge HOLDINGS
代表者	代表取締役社長兼CEO 貞松 成
設立	2007年1月
グループ事業内容	チャイルドケア事業、エルダリーケア事業、テック事業
売上高	83億円（2020年連結）
従業員数	1500人（連結）
上場証券市場	東京証券取引所 マザーズ市場（証券コード：6557）
所在地	東京都墨田区錦糸1丁目2番1号

事業概要

・チャイルドケア事業 あい・あい保育園

待機児童の解消を目指し、直営認可保育施設「あい・あい保育園」について、千葉県・東京都・大阪府及び神奈川県に展開しています。

・チャイルドケア事業 AIAI PLUS

児童発達支援事業と放課後等デイサービスの多機能型施設である「AIAI PLUS」では、児童の発達支援において多様化するニーズに応えるため、発達に関する専門家が個別にサービスを提供しています。

・エルダリーケア事業 YASURAGI

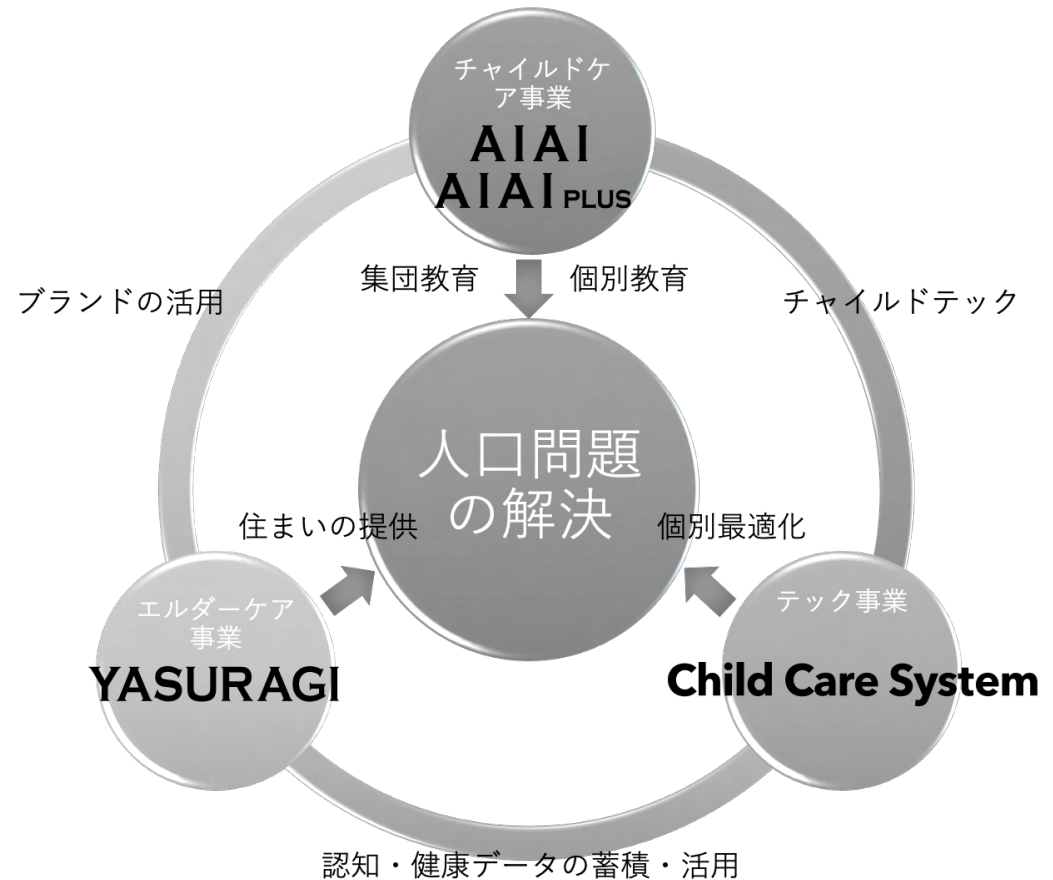
「やすらぎとふれあいの住まい」を提供するやすらぎは、利用者様がさらに安心・快適に過ごすことができる介護付住宅を目指し、東京都と大阪府に「YASURAGI」を展開しています。

・エルダリーケア事業 AIAI FACTORY

「手作りおもちゃ工房」あい・あいファクトリーは、生活介護を必要とする利用者様に合わせた玩具の制作活動を提供する施設を目指しています。

・テック事業 Child Care System

一人ひとりの子どもに合った質の高い保育を提供する「保育の個別最適化」をテクノロジーによって実現し、人口問題を「質」の面から解決することを目指しています。



経営理念	夢に向かって成長しつづけよう
行動指針	<p>誠実であること</p> <p>貢献からの利益を追求すること</p> <p>自らを世界に貢献できる人間へと向上させること</p> <p>目標達成への努力を惜しまず、諦めないこと</p>
社是	関わる全ての人々に自分の存在価値を高めること

ミッション・ステートメント – Mission Statement –

人口問題の解決のため、世界に貢献できる有能な社員の採用と教育に注力します。

ハイビジョン – High vision –

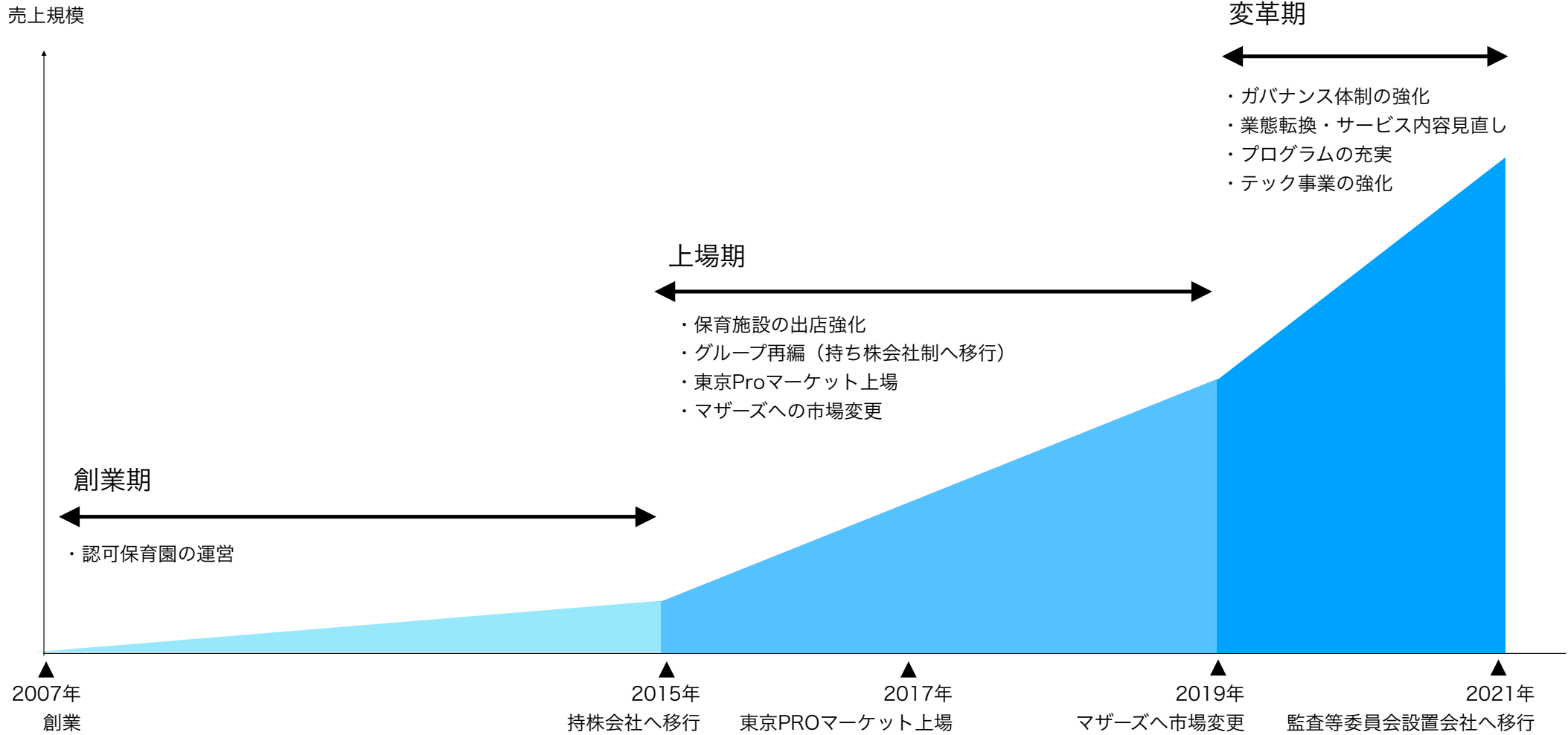
当社は21世紀中に大きな変化を遂げていく社会福祉業界において事業を展開しています。

ミドルビジョン – Middle vision –

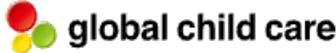


当社社員、子ども、高齢者、障害者、地域の方々等が共生することが出来る世代間交流施設を実現し、良い効果の輪を広げていきます。

ベーシックビジョン – Basic vision –

専門性と人間性を高めることで、理念の実現に向けて質の高い運営を行い、関わる方々の幸福の実現の為に働きます。



ビジネスモデル

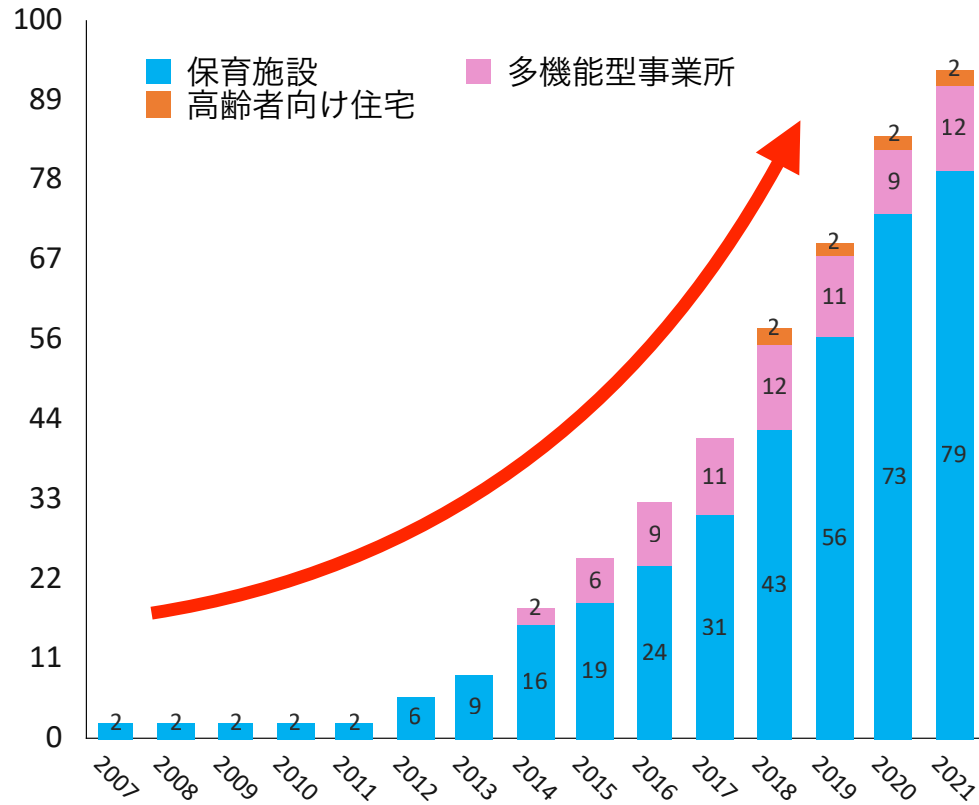
セグメント名称	運営サービス	売上高比率*	運営会社
チャイルドケア事業	保育施設 AIAI 多機能型事業所 AIAI PLUS	90.2%	
エルダリーケア事業	高齢者向け住宅 YASURAGI 生活介護施設 AIAI FACTORY	8.3%	
テック事業	保育ICTシステム Child Care System	1.5%	

* 2020年12月期実績

施設数・売上高の推移

施設数の推移

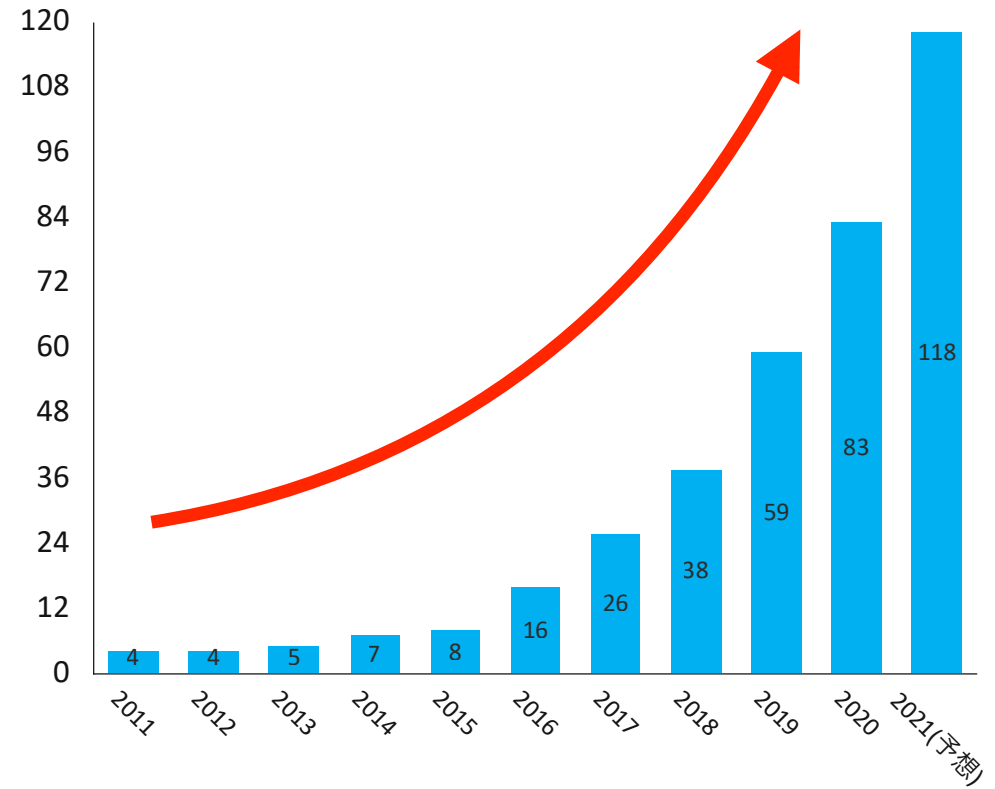
(単位：施設)



※上記のほか、生活介護施設「AIAI FACTORY」を1施設運営

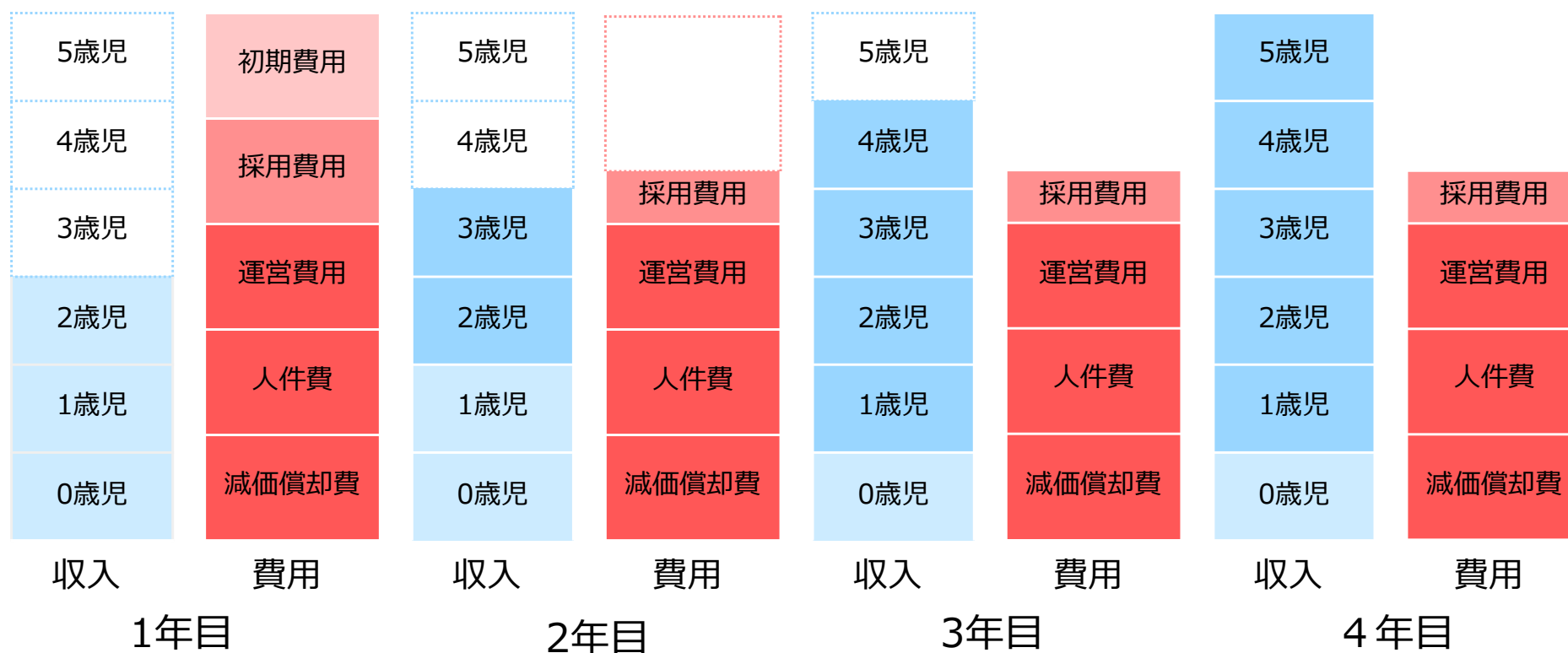
売上高の推移

(単位：億円)



保育施設の収益モデル

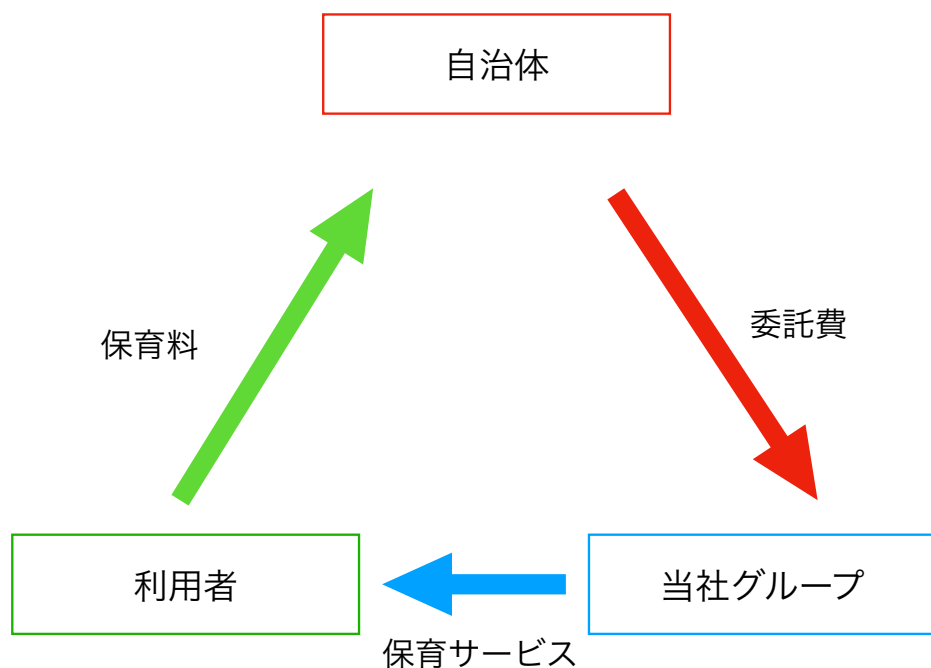
収益化



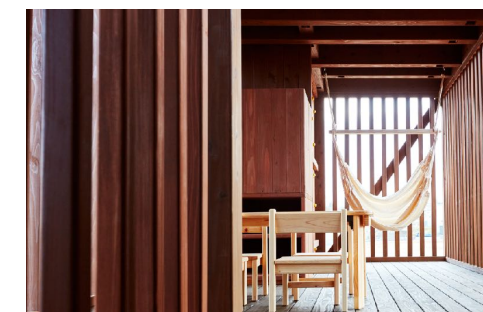
チャイルドケア事業（保育）の事業概要

- ・待機児童の解消を目指し、千葉県・東京都・大阪府及び神奈川県に認可保育園を開設。
- ・就学支援に特化するために建物内に学習室を設置しているほか、大型遊具AINI、AINI BOXは子どもの基礎体力の向上を図るとともに認知度の向上に寄与。
- ・自社開発システム「Child Care System」によって業務をICT化し保育士の事務作業を削減。

<ビジネスモデル>



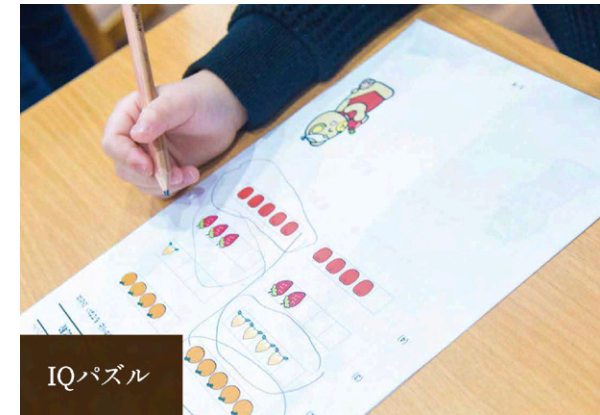
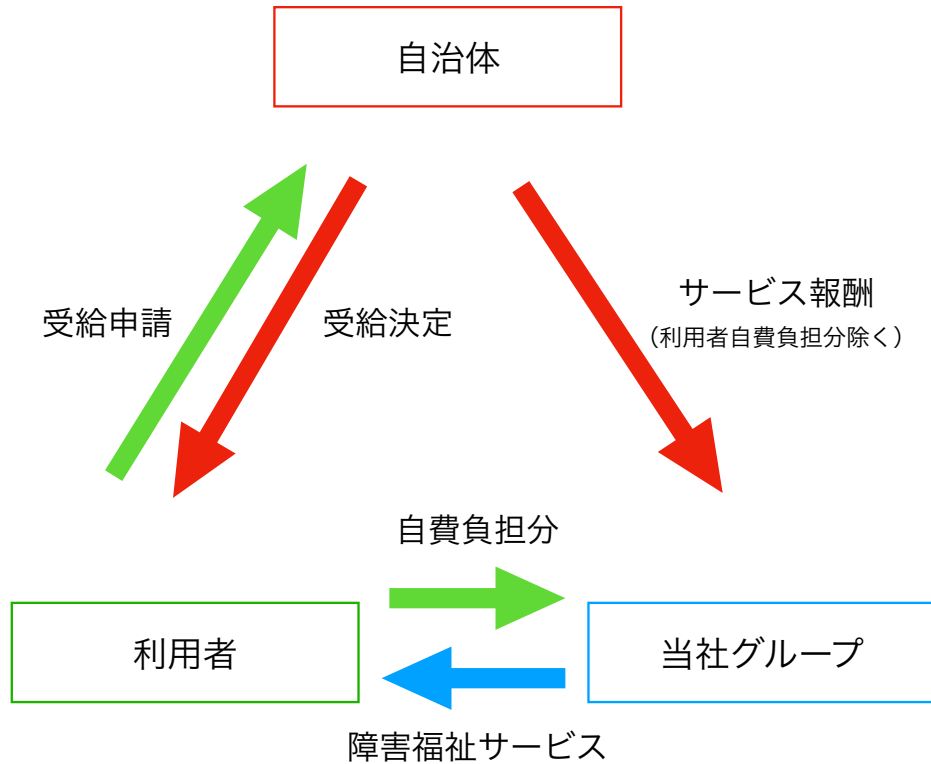
※小規模保育施設においては一部利用者直接負担が生じます。



チャイルドケア事業（児童発達支援）の事業概要

- ・ AIAI PLUSでは、集団生活に馴染めない子どもたちにプログラムを提供。
- ・ 1回90分のコースに週2回以上取り組むことで、適切な行動をとるために感覚情報を処理したり組織化していく感覚統合を育成。
- ・ 保育園や幼稚園への出張プログラム提供も実施。

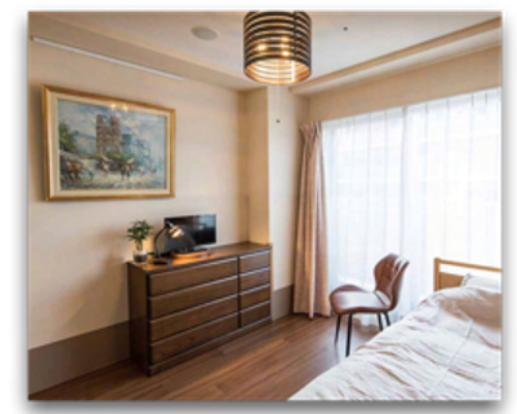
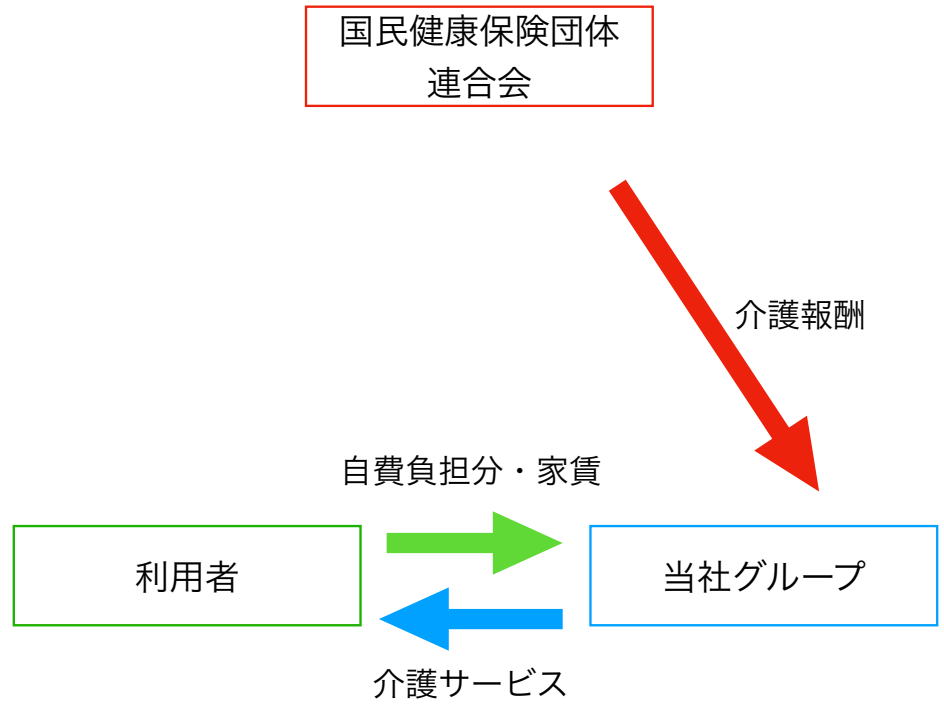
<ビジネスモデル>



エルダリーケア事業の事業概要

- ・ サービス付高齢者住宅と住宅型有料老人ホームを直営で展開。
- ・ 質の高いサービスや食事の提供と、楽しみの時間のプログラム充実を通じて、ふれあいとやすらぎの住まいを提案。

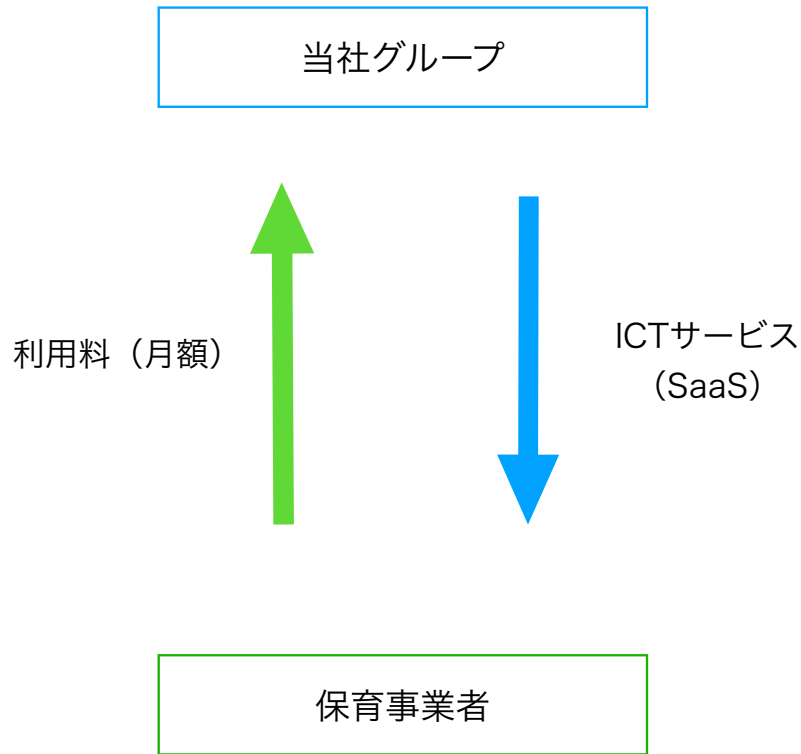
<ビジネスモデル>




テック事業の事業概要

- ・保育の個別最適化をサポートするためのコンテンツを開発、全国の保育関連施設へ展開。

<ビジネスモデル>



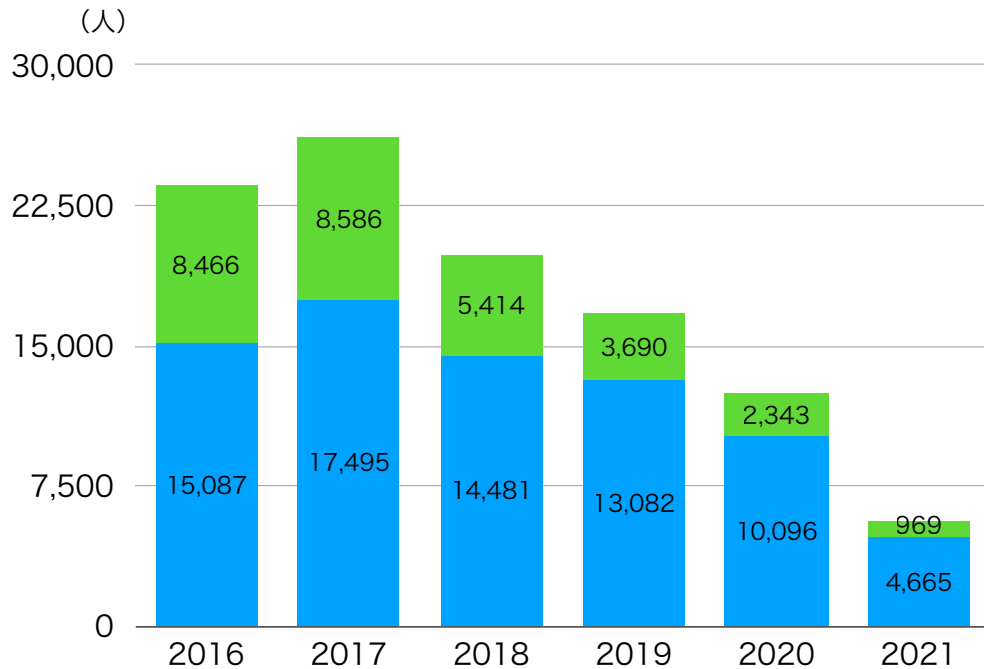
コンテンツ	機能
Child Care System	園児の登降園管理、保育日誌記載、保育補助金請求、監査記録などの総合業務支援システム。
CCS SENSOR	園児の午睡チェックセンサー。皮膚温度の計測により翌日の発熱も予測。
CCS MEMORU	保護者への写真・動画販売。
CCS SHOP	保育用品専門のECサイト。文房具、消毒液、玩具、家具などを販売。
CCS HOME	保育園と保護者間を繋ぐ家庭向けアプリ。園での様子や家庭からの連絡を実現。
	「思考力」と「量感覚」を育む幼児算数講座。

市場環境

チャイルドケア事業（待機児童数及び子ども1人あたり教育費）

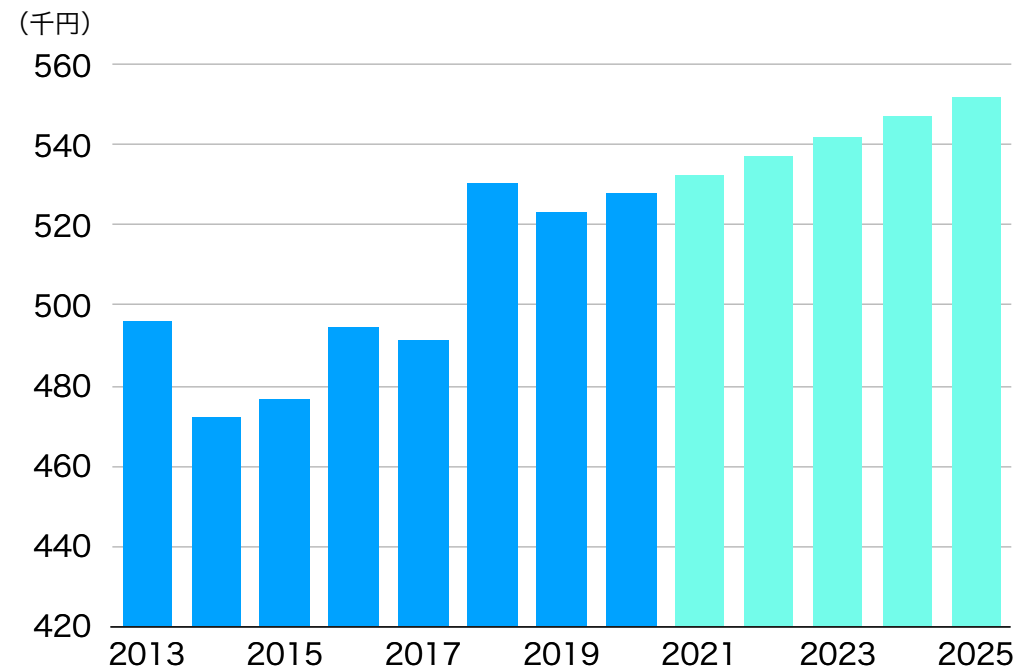
- ・待機児童数は2017年の26,081人から、2021年には5,634人と、▲20,447人の減少。
- ・一方で、子ども1人あたりの教育関連費用の家庭支出は毎年増加傾向。

待機児童数の推移



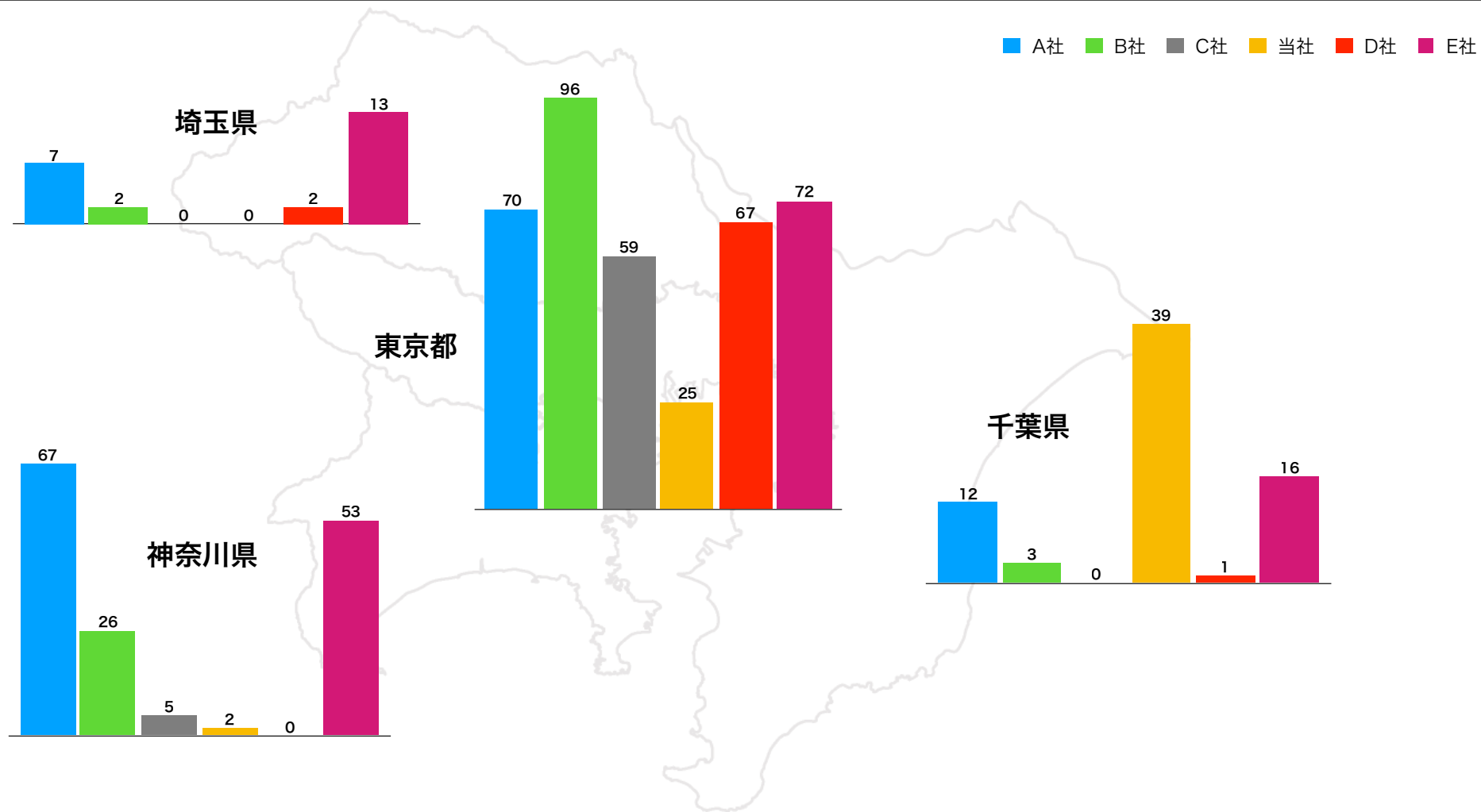
・「保育所関連状況とりまとめ」（厚生労働省）及び「都内の保育サービスの状況について」（東京都）より作成

子ども1人あたり教育費の推移



・「一家計の消費構造の変化—子どもの減少と相反する一人あたり教育費の増加」（参議院「経済のプリズム」）参照
・「家計調査」及び「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（総務省）より作成

首都圏における主な保育事業者の出店状況

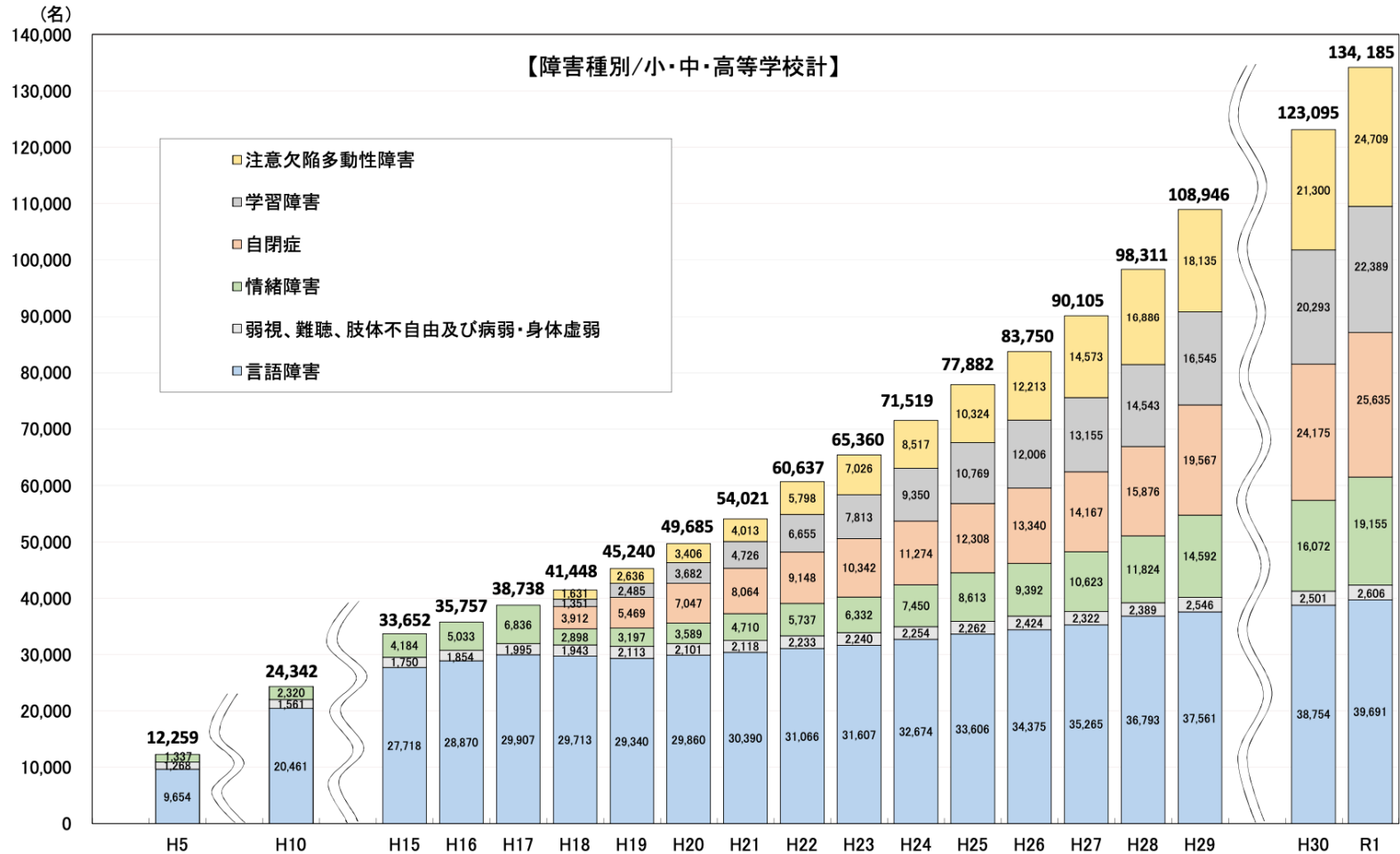


※保育を主たる事業として首都圏に施設を展開する主な株式会社の運営施設数について、2021年4月時点の各社Webサイト公表値をもとに作成。

チャイルドケア事業（障害を抱える子どもの数の推移）

・少子化の一方で、障害を抱える子どもの数は毎年増加。

出典：「特別教育支援資料（令和元年度）」（文部科学省）



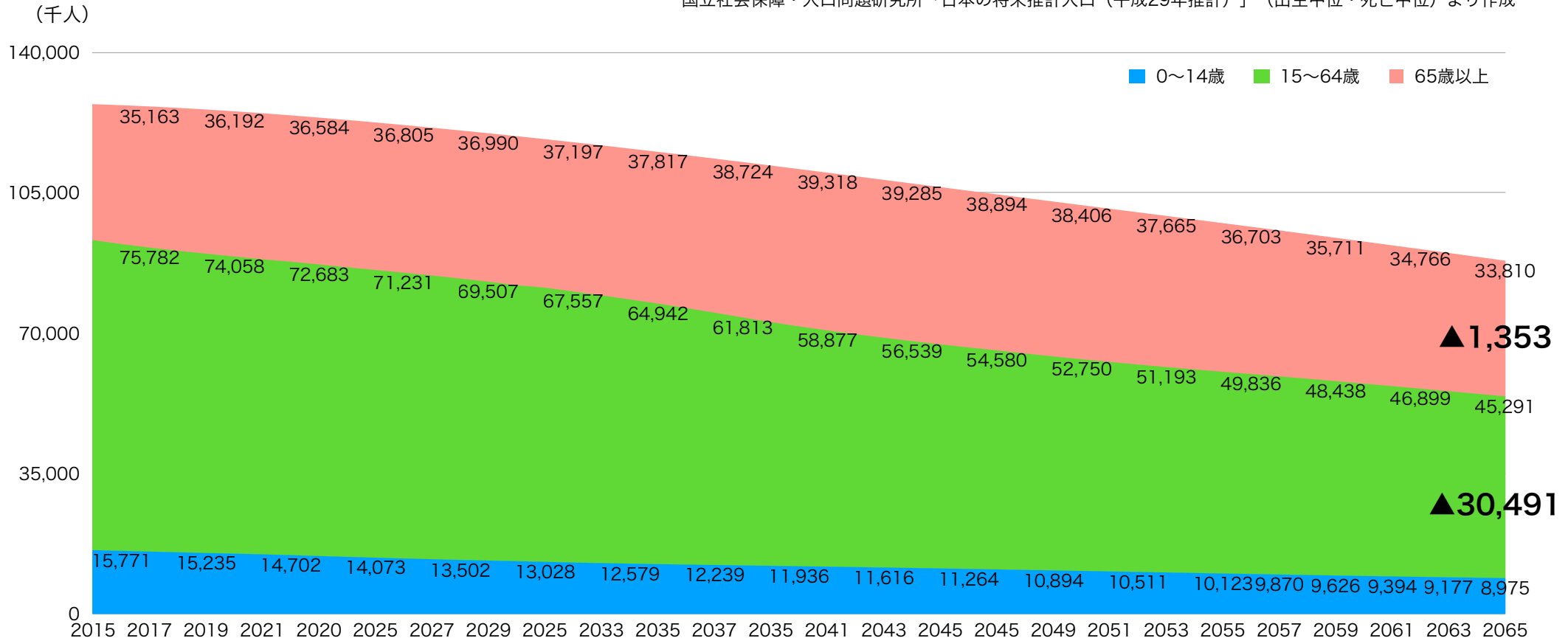
※各年度5月1日現在。
 ※「注意欠陥多動性障害」及び「学習障害」は、平成18年度から通級による指導の対象として学校教育法施行規則に規定し、併せて「自閉症」も平成18年度から対象として明示(平成17年度以前は主に「情緒障害」の通級による指導の対象として対応)。
 ※平成30年度から、国立・私立学校を含めて調査。※高等学校における通級による指導は平成30年度開始であることから、高等学校については平成30年度から計上。※小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程、高等学校には中等教育学校後期課程を含める。

エルダリーケア事業（日本の将来推計人口）

・高齢者人口は、今後30年間で130万人程度減少。一方で、生産年齢人口は3,000万人以上が減少する見込み。

日本の将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（出生中位・死亡中位）より作成



テック事業（保育園におけるICT導入状況）

- ・全国の保育関連施設（保育園、幼稚園及びこども園）のうち3割以上がICTシステム未導入。

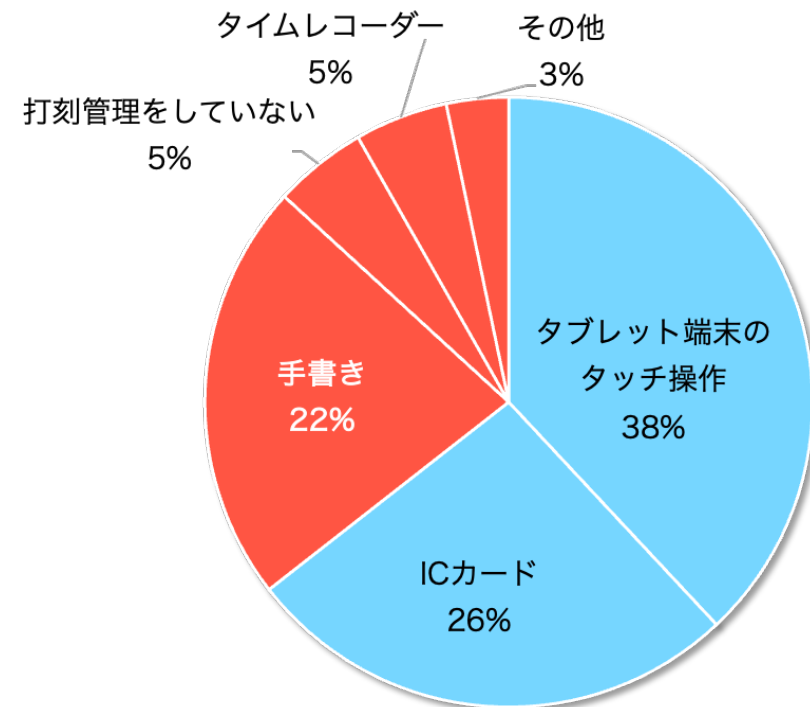
保育施設のうち**35%**が
園児の登降園記録について
「手書き」・「打刻管理をしていない」等



全国約5.6万箇所の
保育関連施設*のうち
3分の1以上が未開拓市場

登降園管理の方法

※2020年6月実施、保育施設向けアンケート



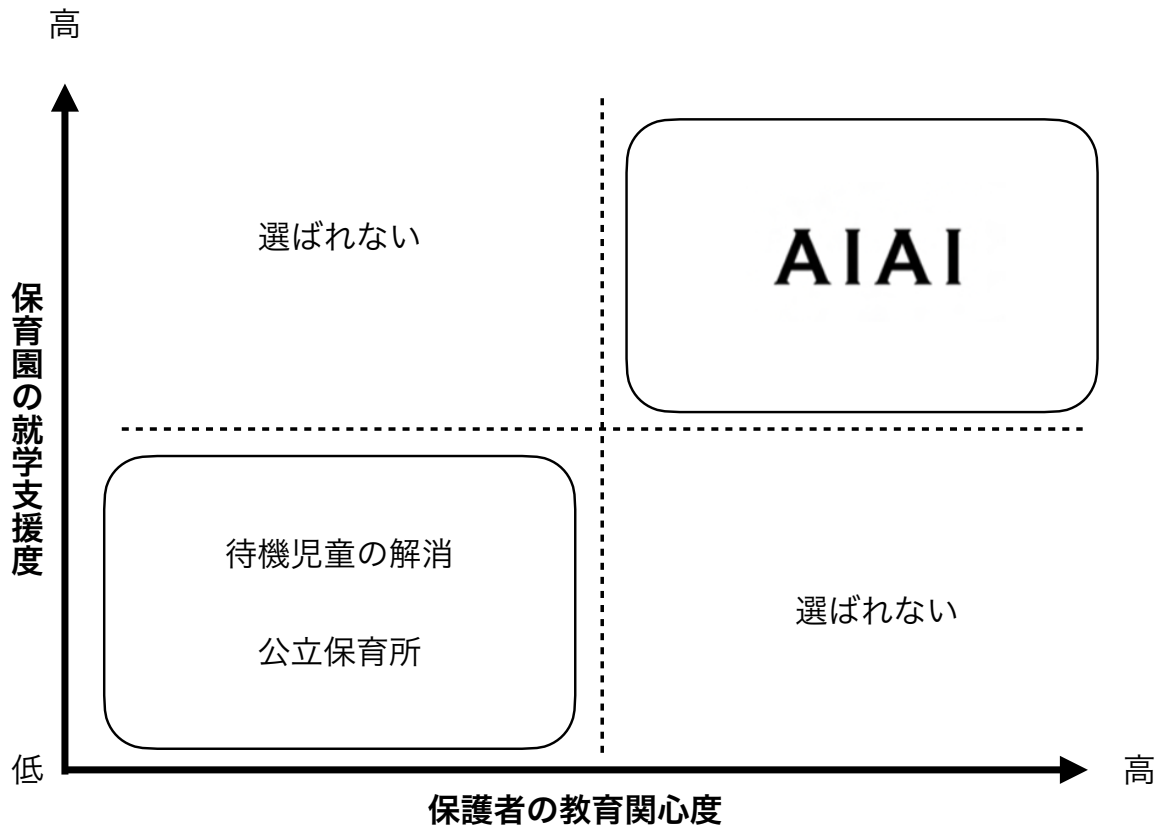
* 保育関連施設：保育園・幼稚園・子ども園の合計（2021.4時点）

* 「認可外保育施設の現況取りまとめ」（厚生労働省）、「福祉行政報告例」（厚生労働省）、「学校基本調査」（文部科学省）、「認定こども園に関する現況」（内閣府）及び「企業主導型保育事業所助成一覧」（公益財団法人児童育成協会）から集計。

競争力の源泉

未就学教育支援プログラムの充実

- 今後、就学支援において保育事業者の二極化が進むと考えられる中、AIAIでは就学支援に特化するために学習室を設置するとともに、就学前教育支援プログラムを充実させ、就学支援度を向上
- 質の高い保育の提供を通じて、待機児童解消後の選ばれる保育園を目指す



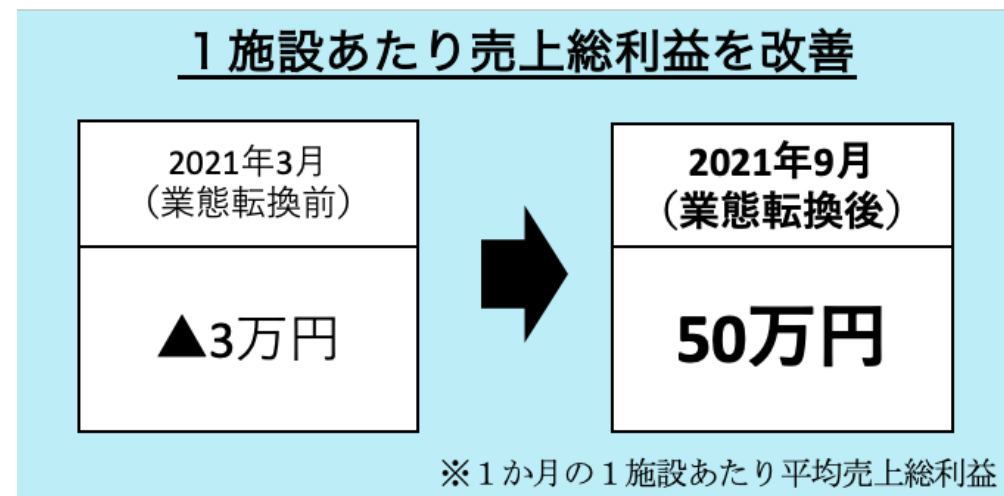
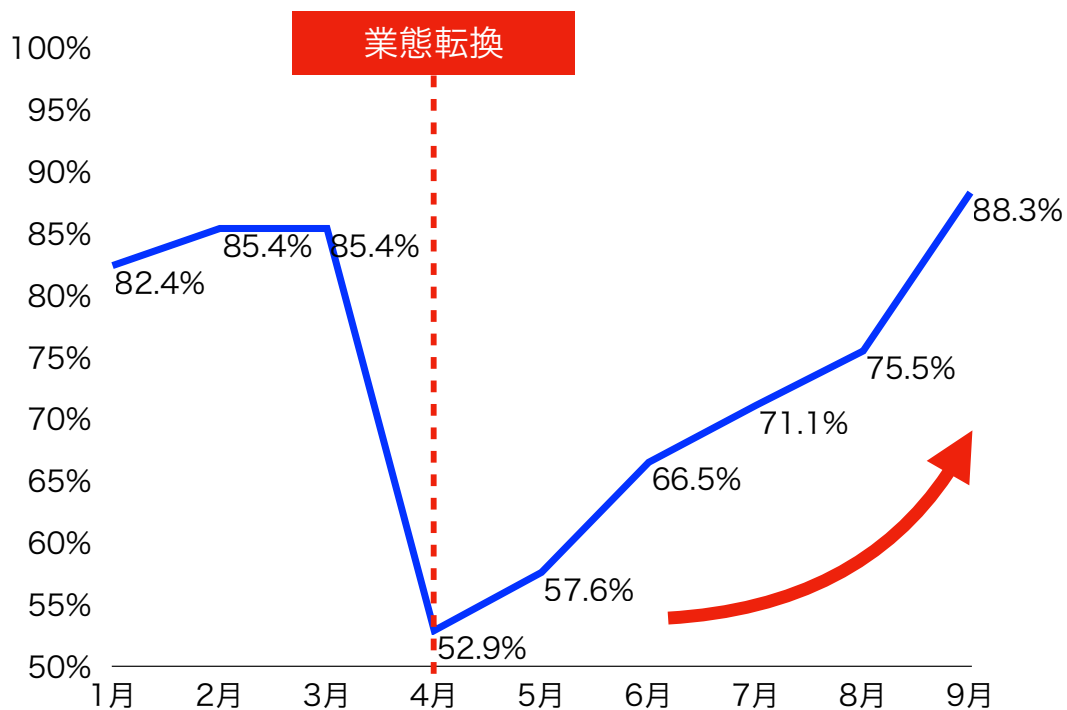
AIAI
3つの教育プログラム
(グループのコンテンツ)



投資対効果の高い業態の展開 (AIAI PLUS)

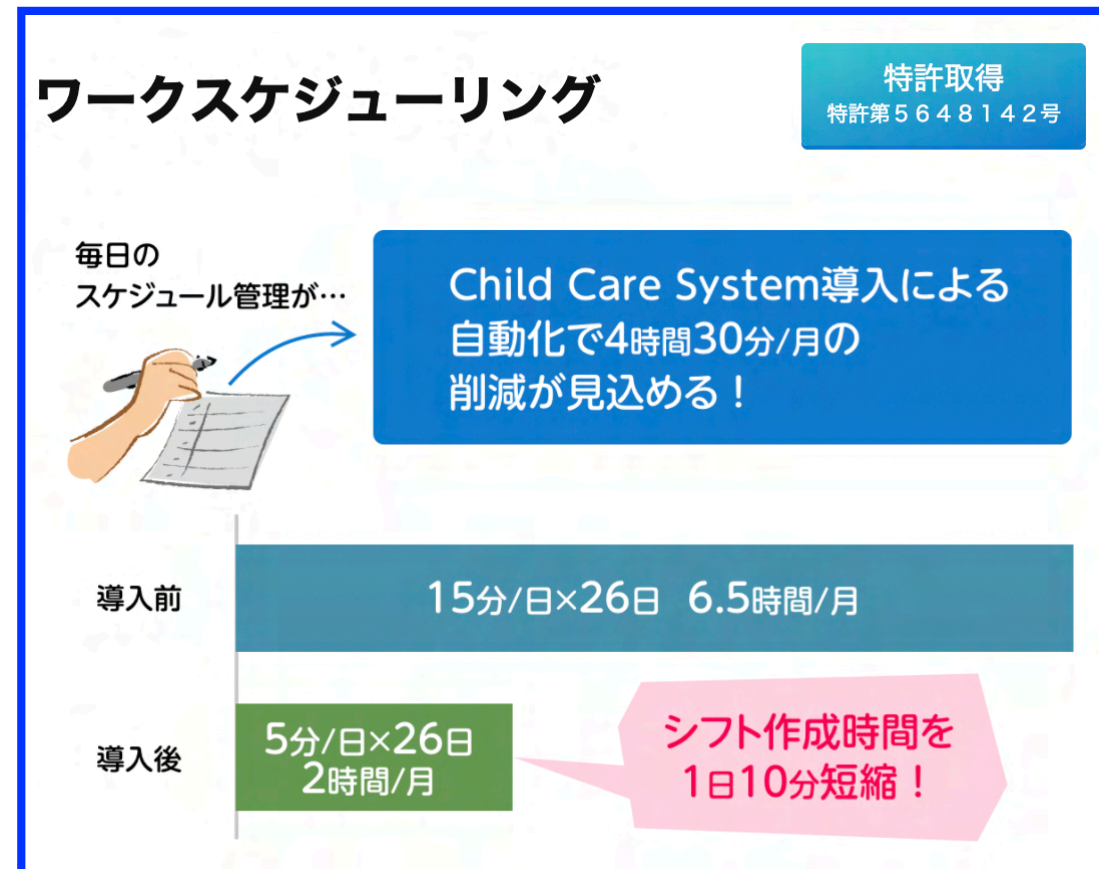
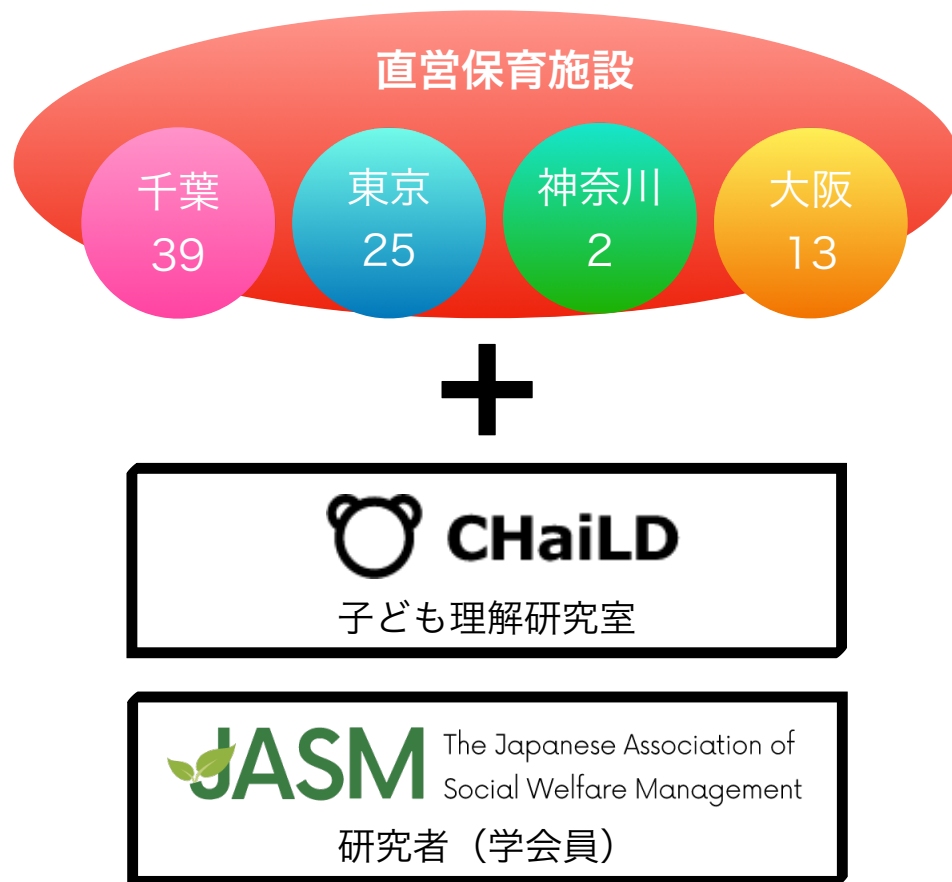
- 放課後等デイサービス「にじ」から多機能型事業所「AIAI PLUS」への業態転換。
- 業態転換を契機に、競争力のある良質なプログラムの提供を通じて高稼働率を確保するとともに、認可保育園よりも投資額を抑制しつつ、高い投資対効果 (ROI) を確保可能な業態を実現。
- AIAIと併設によりAIAIの集客力の強化にも寄与。

AIAI PLUSの利用状況



直営施設からのデータ解析に基づくプロダクト開発

- ・グループ直営施設から得られた700万件以上のデータを自社研究機関で解析しプロダクトを開発。
- ・国内上場企業で保育ICTシステムを開発、製造及び販売を唯一展開。(当社調べ)
- ・ワーキングスケジュール機能に関する特許を取得（特許第5648142号）



事業計画

シェアの拡大／顧客データの解析／持続的な収益

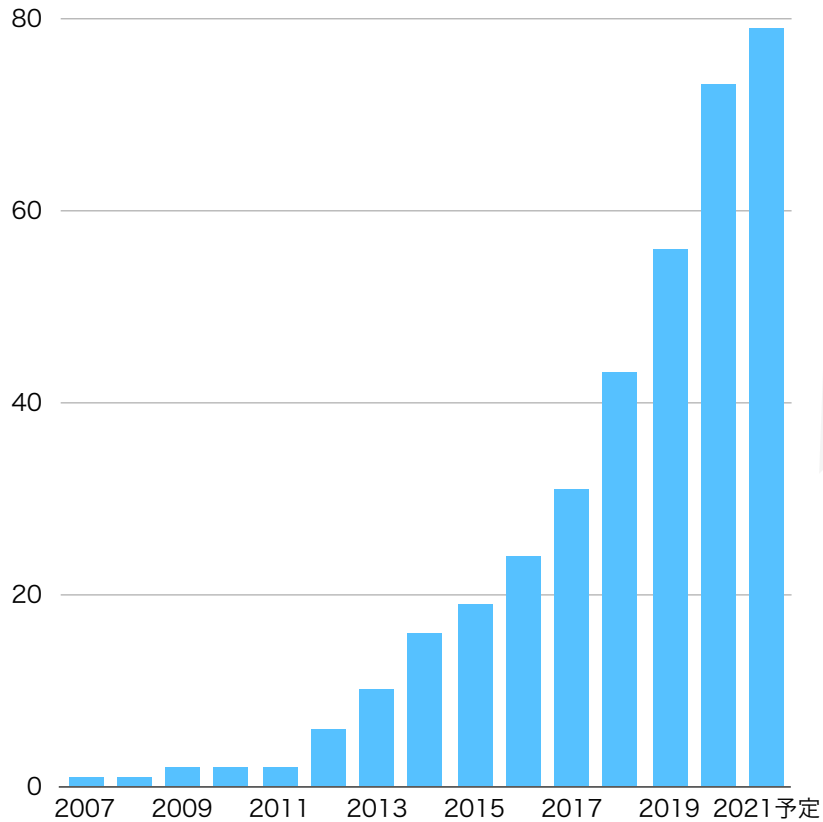
認可保育事業	安定的な収益基盤・データベース基盤の維持拡大
児童発達支援事業	AIAI PLUS拡大のための積極的な投資
テック事業	保育ICT市場におけるシェア拡大のための投資 (機能追加や販路拡大等に向けた投資)
エルダリーケア事業	2030年代介護ピークに向けた基盤整備

これらの基本的な考え方を軸に、2022年5月公表予定の中期経営計画を策定中。

保育園からEdTech企業へ

- ・ 直営保育園の展開によって得た知見を活用し、保育運営支援のためのICTシステム「Child Care System」を自社開発。

直営保育園を拡大



保育ICTシステム「Child Care System」を自社開発



60名定員保育園
1か所あたり

△ 2,600時間/年

- ・ 年間休日を130日へ
- ・ 研修時間の確保
- ・ 新規採用者の大幅な増加 (2020年実績175名)

Child Care System の機能

- Child Care Systemにより保育園の事務作業時間を軽減し、園児との活動時間を増やすことで最適な保育の実現をサポート。
- 引き続きAIによる発達解析機能を開発中。

導入前



導入後



気に入ったらすぐ購入！
専用アプリ不要の
写真・動画販売サイト

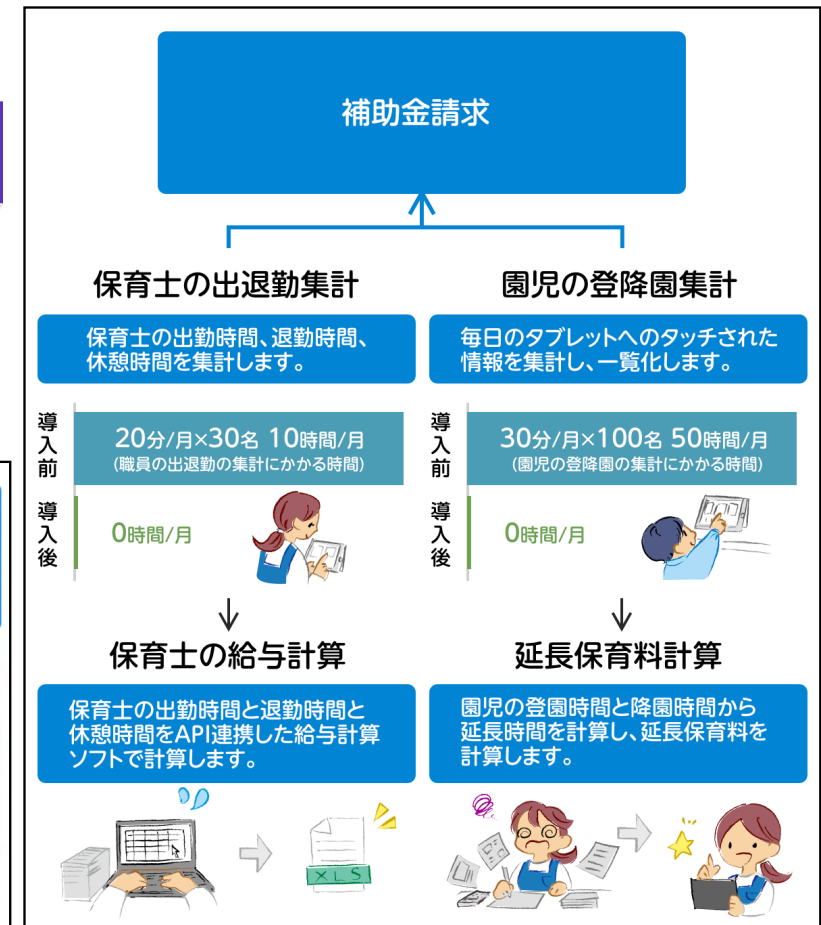
保護者との
電話のやりとりが…

急なお休みや送迎変更の連絡も
アプリで簡単に伝えることができる！

2021年
5月19日 (水)

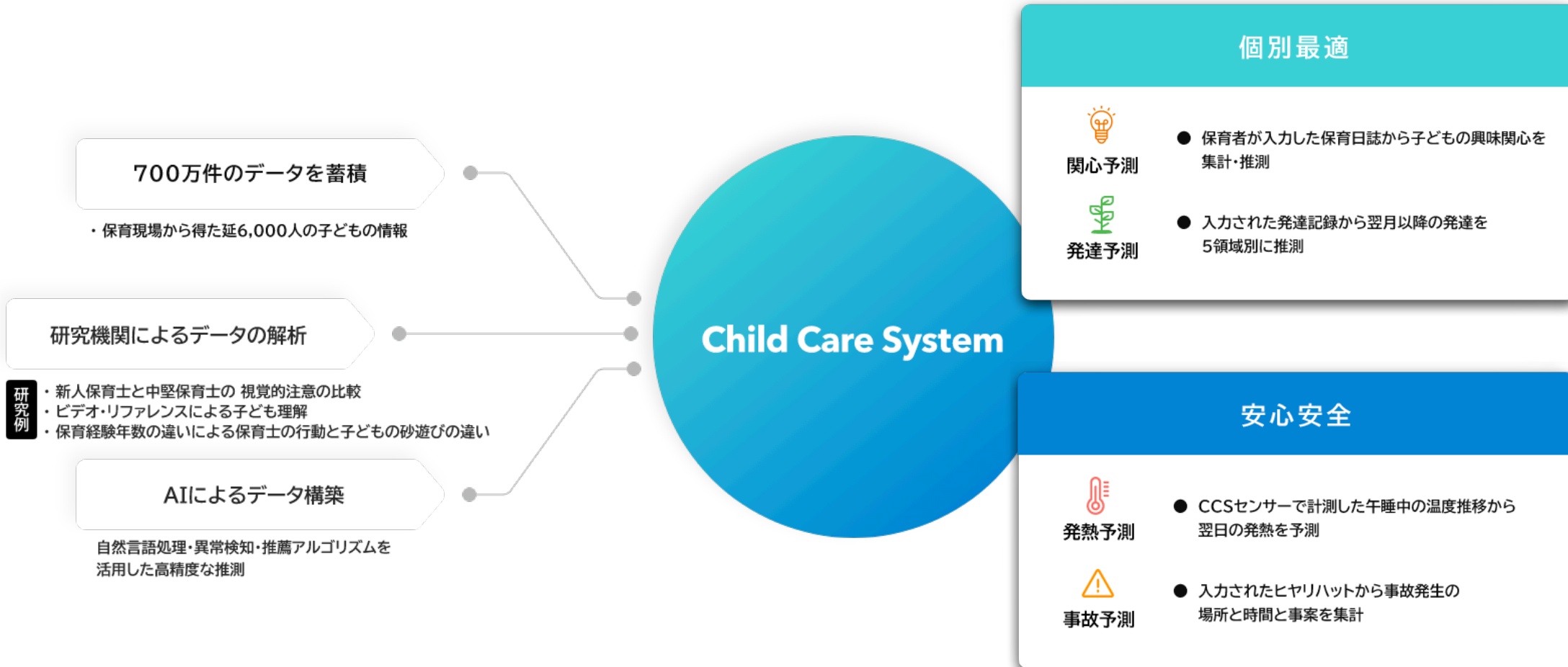
欠席連絡 送迎変更

欠席予定が登録されました。
期間：2021/05/20～2021/05/20
コメント：体調が悪そうだったので、検温したところ37.9℃
あったため、明日はお休みします。



Child Care System の特長

・直営保育施設から得た700万件以上のデータを解析し、AIを活用して保育の質の向上をサポート。



CCS SENSOR

- 子どもの午睡中のうつ伏せ寝を検知するセンサーを開発・販売。
- 独自技術により発熱予測機能を搭載し、微熱を含む翌日の発熱を72.07%の精度で予測。

①オムツに取り付け



②うつ伏せ寝を検知



③いち早く対応

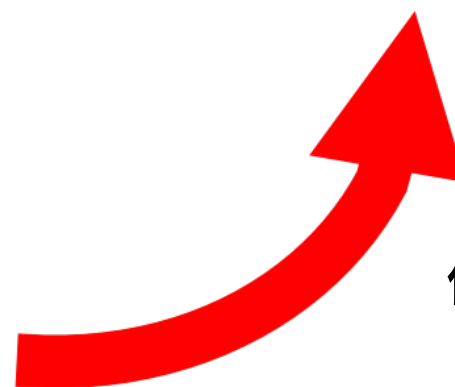


1,000人以上の保育士の中から

最も優れた保育士の技術を

オンデマンド教材として配信

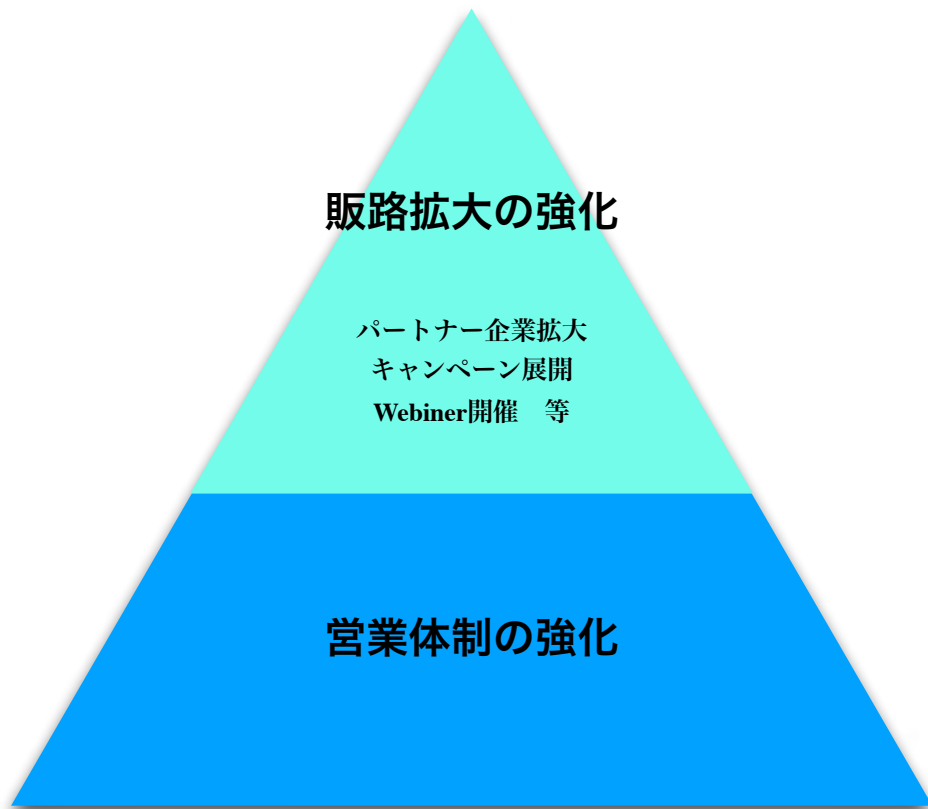
例：絵本の読み聞かせの場合



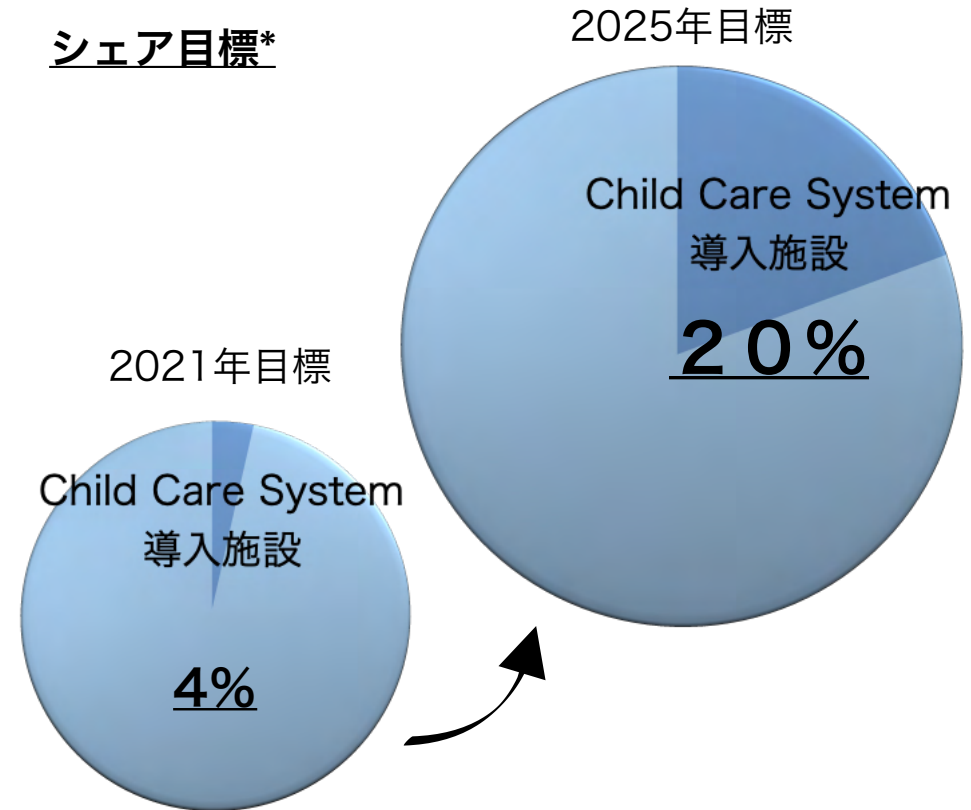
保育士のスキルアップ

シェア拡大に向けた取り組み

- ・売上拡大に向けて営業体制を強化中：2022年度に向けて営業部門の充実を図る。
- ・シェア拡大に向けた販路拡大の強化（パートナー企業の拡大、キャンペーン展開、Webiner開催、等）。



シェア目標*



*全国の保育園・幼稚園・認定こども園（計約5.6万施設）のうち、私立認可保育園、私立幼稚園（約2.1万施設）におけるシェア

- ・ 持続的な成長に向けて、売上高の拡大とともに、収益力を高め、当面は営業損益の黒字化に注力。そのため、売上高・営業損益・経常損益及び純利益を重要な経営指標と位置付け、経営課題への取組を強化。
- ・ なお、現時点では中期経営計画は策定していないものの、今後、2022年5月の公表に向けて検討。

	2020年12月期 (実績)	2022年3月期* (予想)
売上高	83億円	118億円
営業損益	△12億円	△4億円
経常損益	2億円	2億円
純利益	1億円	1億円

* 単位未満切捨。

* 2021年度より施設開園にかかる諸費用の表示方法を変更。従来、施設開園前にかかる諸費用は売上原価に計上していたものの、費用負担の実態を明確にし、損益区分の適正化を図るため、「開園準備費」として営業外費用への計上に変更。これに伴い2020年度の数値も当該表示方法の変更を反映。

* 当社は、2021年11月18日開催の臨時株主総会において、事業年度について「毎年1月1日から12月31日まで」から「毎年4月1日から3月31日まで」に変更している。

- ・2021年11月18日に開催の臨時株主総会の決議によって、12月決算から3月決算に移行。
- ・当第3四半期決算においては、開施設設数は計画どおり。また、売上高や営業損益及び純利益についても、計画どおり進捗。

	2020年12月期 (実績)	2022年3月期* (予想)	2022年3月期 第3四半期
売上高	83億円	118億円	69億円
営業損益	△12億円	△4億円	△4億円
経常損益	2億円	2億円	0億円
純利益	1億円	1億円	0億円

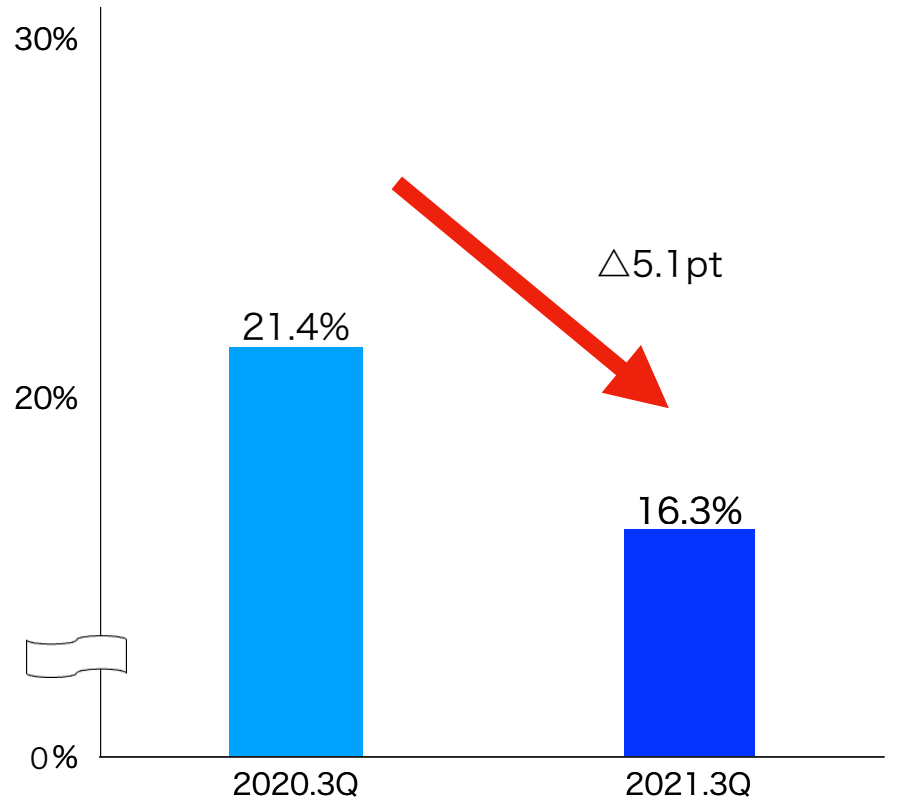
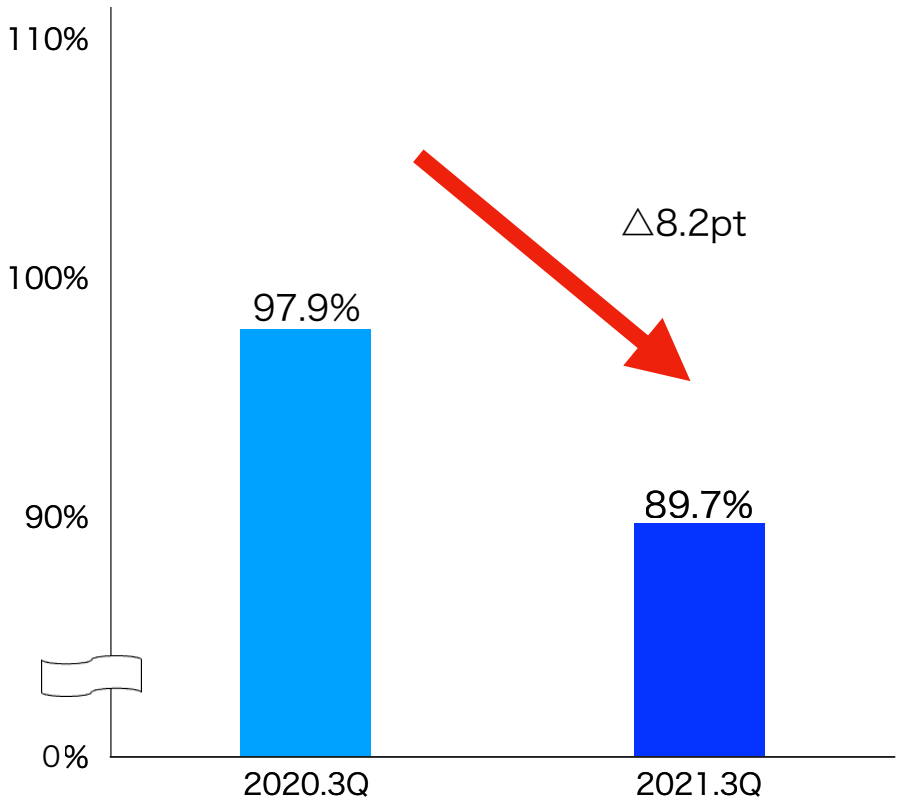
* 次回の本資料のアップデートは、2022年5月頃を予定。

売上原価・販売管理費の合理化

売上高原価率（四半期連結累計期間）

売上高販管費率（四半期連結累計期間）

営業原価・販管費ともに前年同期から大きく改善

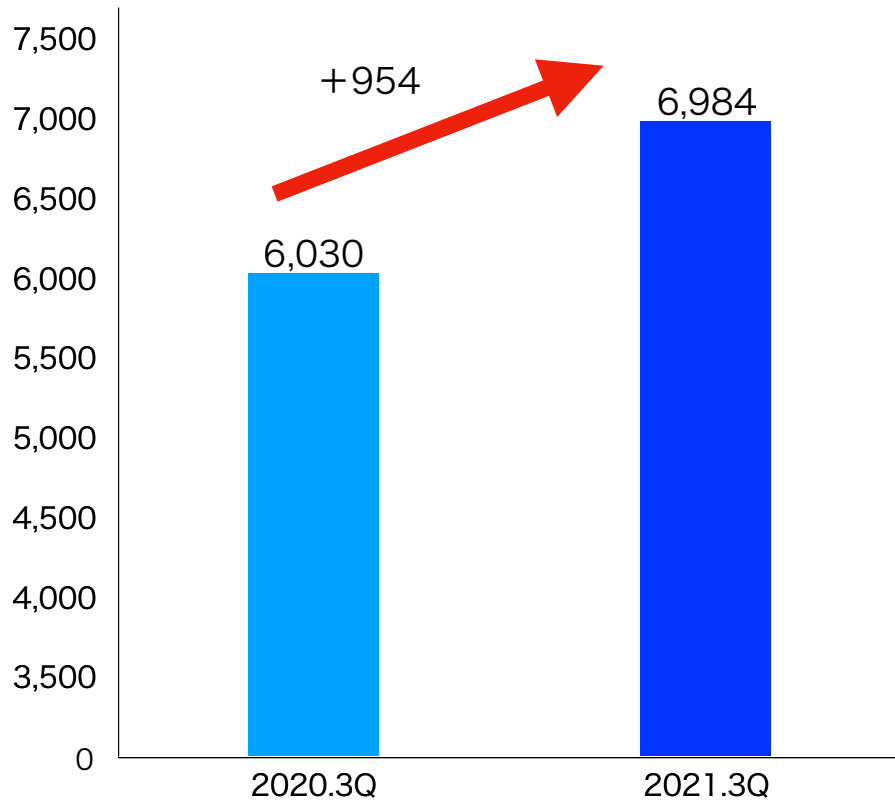


※ 単位未満四捨五入

売上高・営業損益の前年推移

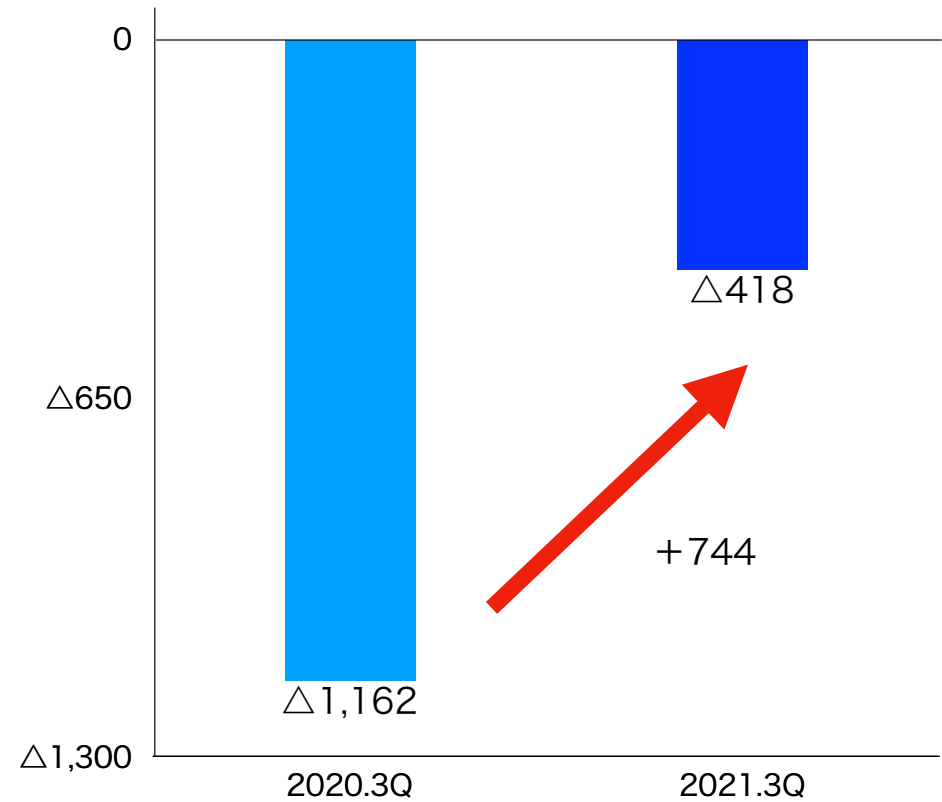
売上高（四半期連結累計期間）

売上高は前年同期から増加



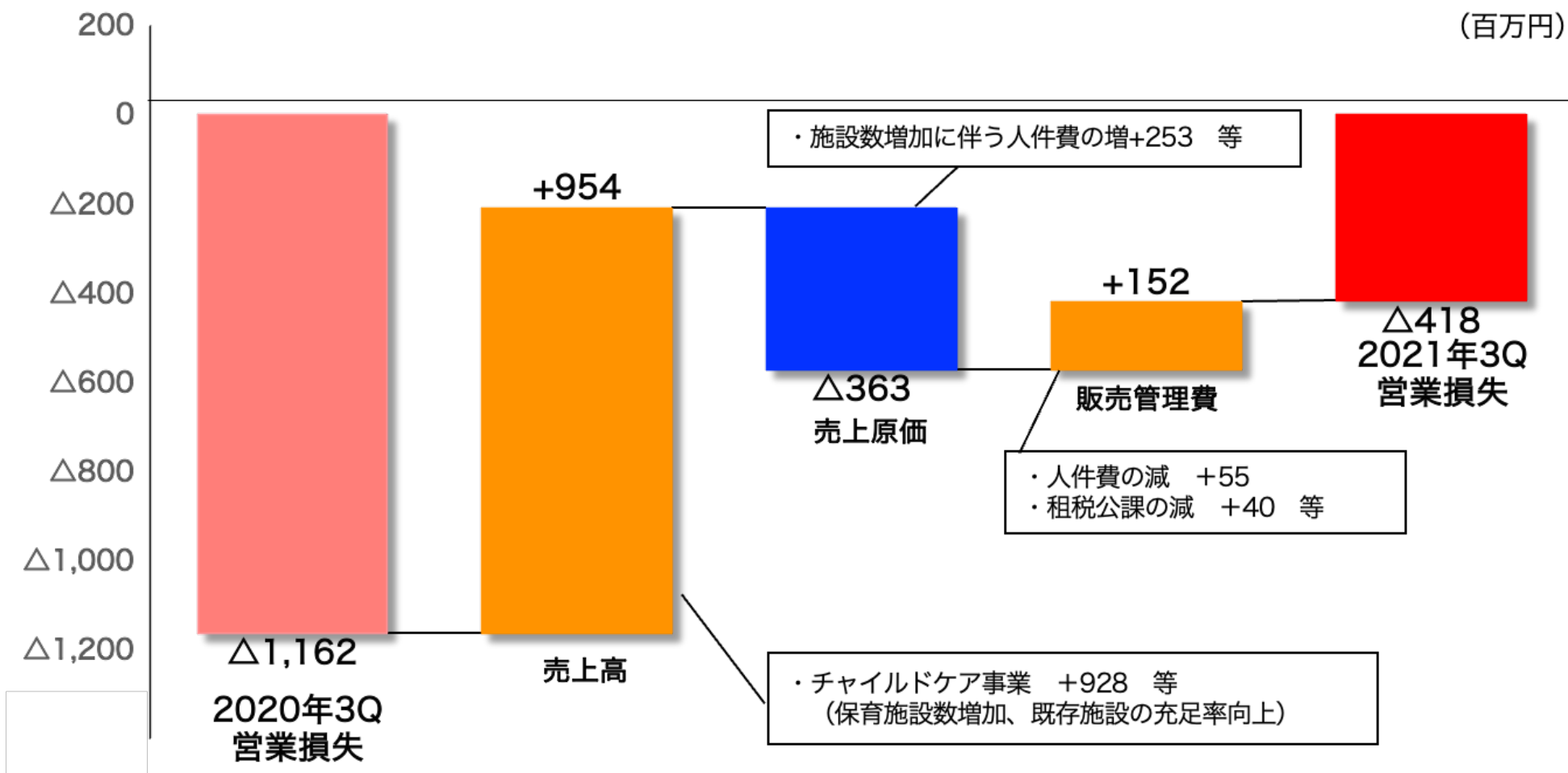
営業損益（四半期連結累計期間）

営業損失は前年同期から改善



※ 単位未満四捨五入

営業損益の改善状況



2021年度認可保育園新規開設の進捗



あい・あい保育園 大森園



あい・あい保育園 大淀中園



あい・あい保育園 第二流山おおたかの森園



あい・あい保育園 東葛西園



あい・あい保育園 第二新柏園



あい・あい保育園 豊四季園

リスク情報

主要なリスク及び対応策

分類	対象セグメント	リスクの内容	顕在化の可能性 ／時期	顕在化した場 合の影響度	対応策
利用者の減少	チャイルドケア エルダリーケ ア	保育事業及び介護事業は、国内の居住者を対象とした事業であるため、国内の人口や社会構造、家族形態、労働需給、ライフスタイルの変化等に伴い利用者の増減が生ずる事業です。 今後、国内においては少子化及び人口減少が見込まれますが、都市部については地方からの人口流入が継続し、保育及び介護のニーズは高い水準が継続すると見込まれることから、当社グループの保育事業及び介護事業は東京都23区、千葉県内、大阪市内に集中して施設展開をしております。 しかしながら、今後施設展開をしている地域において、想定していない大きな人口減少や社会構造の変化等が生じた場合は、施設利用者が減少し、業績に影響を与える可能性があります。	中 / 長期	中	ブランド力の向上を図るとともに、提供プログラムやサービスの充実化によって差別化に取り組み、利用者に選ばれる施設の展開を図って参ります。
国や自治体による方針の変更や関連法規制等の改定等	チャイルドケア エルダリーケ ア	今後、国や自治体の方針に変化が生じ、補助金の削減や制度の廃止等、株式会社による認可保育園の開設ならびに既存の公立保育所の民営化が推進されなくなった場合、当社グループにおける保育事業の拡大が止まり、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。 また、介護事業は介護保険法などをはじめとする各種関連法令改定によって影響を受ける事業であり、介護保険制度は定期的な見直し改定が行われております。今後、介護保険制度の改定により報酬引き下げ等の事象が発生した場合、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。	中 / 中期	小	政府の政策動向を見極めるとともに、認可保育園以外の事業の柱を育成し、持続的な成長に努めます。また、介護施設の運営方法等を不断に見直し、高品質なサービスを提供しつつ利益を生み出せるよう努めます。
人材の確保及び育成	チャイルドケア エルダリーケ ア	当社グループでは、新規施設の増加に伴い、保育士、児童指導員や介護福祉士などの資格や要件を満たした人材の確保と育成が必要となっております。そのため、当社グループでは、採用担当の人員を増員し、幅広い採用活動を行いながらキャリアプランに沿った研修を年度を通して行い、人材の育成に取り組んでおります。しかしながら、その採用と育成が施設開設の速度に対応できない場合には、開設計画に遅れが生じ、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。	中 / 中期	小	計画的な人材の採用と育成に努めるとともに、優秀な人材を確保できるよう、働きやすい環境の整備に努めます。
保育市場の縮小	テック	テック事業においては、主に保育事業者を対象とした保育園運営管理システムの販売等を行っております。したがって、保育市場が縮小した場合は、当該システムの需要が減退し売上高が減少するなどして、当社グループの財政状態及び業績に影響を与える可能性があります。	中 / 中期	中	顧客との対話等を通じて必要とされるサービスラインナップの拡充に努めるなど、需要の維持向上を図ります。また、将来的には新たな市場に向けた製品開発等も視野に、さらなる成長に向けた検討を深めます。

* 上記以外のリスクは有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

■免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。

当社は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としております。また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。

したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容につきまして、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。

■開示時期

本資料の次回のアップデートは、2022年5月頃を予定しています。